

キャラクター名
来川 澄/真

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ		年齢	16/21	性別	男
オプション	覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	38 %
出自	転生体	経験	秘密	邂逅	半身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	0	1		1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術: 写真	2		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハレーションカット (100%以上)		0				解放の雷+強化の雷光 対象のシーン中の判定+4D/次のメジャーアクションのC値-1(下限6) 攻撃+2
		0				解放の雷+強化の雷光 対象のシーン中の判定+5D/次のメジャーアクションのC値-1(下限6) 攻撃+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 嗜好きの友人	
カジュアル 思い出の一品	
ポラロイドカメラ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ タス	消費
特異点	P	N		
来川 澄	P 連帯感	N 嫉妬		
轟 悠	P 信頼	N 無関心		
リリー	P 連帯感	N 恐怖		
"吸血鬼"	P 感服	N 憤懣		
被害者女性	P 庇護	N 脅威		
きよみオレンジのサンデー	P 執着	N 恥辱		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定+LVD 侵蝕率基本値+5							
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	シーン中エフェクトを組み合わせた判定の達成値+LV							
リフレックス:オルクス	2	2	リアクション	至近	自身	シンドローム	-	
効果:	組み合わせた判定のC値-LV(下限7)							
幸運の守護	★	1	リアクション	至近	自身	RC	-	
効果:	組み合わせた判定でドッジを行える							
天性のひらめき	2	4	メジャー	-	-	-	-	
効果:	組み合わせた判定のC値-LV(下限7)戦闘中使用不可							
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定のダイス目をひとつ10に変更する 1回/判定 LV回/シナリオ							
解放の雷	1	4	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果:	対象の次のメジャーアクションのC値-1(下限6) 攻撃力+[LVx2]							
強化の雷光	4	2	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果:	シーン中対象のメジャーアクション+LVD 戦闘移動+5m							
運命の切り替え	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	対象がドッジに失敗した時に使用 代わりに回避 シナリオLV回							
妨害排除	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定の直前に使用 対象はダイス減少の効果を受けない シナリオLV回							
加速装置	2	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	ラウンド中の行動値+[LVx4]							
インスピレーション	1	2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	GMに質問 シナリオLV回							
テイクオーバー	1	2	オート	至近	単体	自動	RB/オリジン	
効果:	オリジン効果中のみ: 対象のエフェクト使用時の侵蝕率上昇を肩代わり シナリオLV回							

UGN・F市支部所属のオーヴァード。死者の記憶を起源とするオリジン:ヒューマンのレネゲイドビーイング。本体は生前愛用していたポラロイドカメラに宿っているようだが、弟である来川 澄の身体を借りて共生生活している。相棒だった轟 悠と2年越しにコンビを再結成し、絶賛お仕事頑張中。

『特異点』である自分の招く強烈な運命の大波を未来視(インスピレーション)で捉え、乗り越えて最善の結末に誘導することで事件を解決する、というアプローチを採る。生前は誰にもこの能力を明かさず、未来視による決定的な結果だけをポラロイド写真に現像して仲間に共有していたため、撮影にフォーカスした"Framed Moment(縁取られた刹那)"のコードネームを付けられた。自らの生み出した高電圧に自分の発電細胞が耐えきれず自壊してしまうため、戦闘には全く向かない。

珍しい能力を持ち生まれたこと、それを目当てにした人間に利用され殺されかかった経験があることから、「自分が何を視たのか?」を誰にも共有しなからず、自分だけの手で解決しようとする悪癖を持っていた。2年前の自分の死の原因となったオーヴァード"エメラルドビースト"との再戦(と、その後の喧嘩)や、相棒の過去の因果から生まれた"ローズ・オブ・ミラージュ"との戦い(と、その合間の喧嘩)を経て相棒との間に本当の意味での信頼関係を構築したことで、徐々に改善されつつはあるらしい。

